

# 第12回 山鳥坂ダム環境検討委員会

環境省レッドリスト見直しに関する対応

平成19年10月28日

国土交通省 四国地方整備局  
山鳥坂ダム工事事務所

# 環境省レッドリスト見直しの経緯

- 平成18年12月22日(準備書の公告・縦覧後)に、環境省より「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」が発表された。
- 準備書に対する住民意見として、レッドリスト見直しに対応すべきとの意見が提出され、事業者の考え方として意見に対応する旨公表した。
- 平成19年8月3日に「環境省報道発表資料(哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物I及び植物IIのレッドリストの見直しについて)」が発表された。
- 環境省のレッドリスト見直しに伴い、評価書では、重要な種の更新を行う必要がある。

# 動物の重要な種の「環境省レッドリスト」 見直し結果(1)

分類群	カテゴリーの変更・追記のみ	山鳥坂ダム準備書における記載種のうち、 新規に重要な種として追加される種			今回、 重要な種 から削除 される種
		文献での確認種か、調査地域外のみでの確認種	現地調査において調査地域内での確認種 予測対象種に追加	レッドリスト記載種であるが、本来の分布域ではないため、対象種から除く種	
哺乳類	ハレンコウモリ、ウサギコウモリ、コテングコウモリ、テングコウモリ、コウモリ目の一種(ヤマコウモリ、オヒキコウモリ)			チョウセンイタチ	
鳥類	ヨシゴイ、ミゾゴイ、オシドリ、オオタカ、サシバ、チュウヒ、ウズラ、ヒクイナ、ヨタカ、ブッポウソウ	カリガネ			
爬虫類	イシガメ				
両生類	ブチサンショウウオ、オオダイガハラサンショウウオ、イモリ				

)環境省の報道記者発表資料の資料7、評価対象種的基本的条件に「他地域から導入された種は対象から除く」と記載されていることから、愛媛県に本来分布しない種は対象種から除外した。

# 動物の重要な種の「環境省レッドリスト」 見直し結果(2)

分類群	カテゴリーの 変更・追記のみ	山鳥坂ダム準備書における記載種のうち、 新規に重要な種として追加される種			今回、重 要な種 から削 除される 種
		文献での確認 種か、調査地 域外のみでの 確認種	現地調査において 調査地域内での確認種 予測対象種に追加	レッドリスト記載種であるが、本来 の分布域ではないため、対象種 から除く種	
魚類	ヤリタナゴ		ウナギ、アマゴ	ゲンゴロウブナ、ニゴロブナ、ナガ ブナ、キンブナ、シロヒレタビラ、 イチモンジタナゴ、ワタカ、ハス、 カワヒガイ、ホンモロコ、スゴモロ コ、ニッコウイワナ	
昆虫類	ウラギンスジヒョウ モン、オオクワガタ ヨツボシカミキリ	ホソキマルハ ナノミ	ミゾナシミズムシ、スナ ハラゴミムシ		オオオカ メコオロ ギ
底生 動物		ヒラマキガイモ ドキ	ヒラマキミズマイマイ		
クモ類					
陸産 貝類	クチマガリスナガ イ		イヤヤマキビ、シコクケ マイマイ		
動物 合計	25種	3種	7種	13種	1種

)環境省の報道記者発表資料の資料7、評価対象種の基本的条件に「他地域から導入された種は対象から除く」と記載されていることから、愛媛県に本来分布しない種は対象種から除外した。

# 「環境省レッドリスト」に記載されているが、本来の分布域ではないため、重要な種としなかった種

分類群	種名	国内での本来の分布地域	出典
哺乳類	チョウセンイタチ	対馬	日本動物大百科 1 哺乳類1
魚類	ゲンゴロウブナ	琵琶湖	改訂版 日本の 淡水魚
	ニゴロブナ	琵琶湖	
	ナガブナ	諏訪湖	
	キンブナ	太平洋側は関東以北、日本海側は山形県以北	
	シロヒレタビラ	濃尾平野、琵琶湖淀川水系、岡山県高梁川以東の山陽地方	
	イチモンジタナゴ	琵琶湖淀川水系、和歌山県紀ノ川水系、三方湖、濃尾平野	
	ワタカ	琵琶湖淀川水系	
	ハス	琵琶湖淀川水系、三方湖	
	カワヒガイ	愛知県豊川水系以西の濃尾平野、琵琶湖流入河川、京都盆地、山陽地方、九州北西部及び壱岐島	
	ホンモロコ	琵琶湖	
	スゴモロコ	琵琶湖	
ニッコウイワナ	山梨県富士川及び鳥取県日野川以北		

# 植物の重要な種の「環境省レッドリスト」 見直し結果

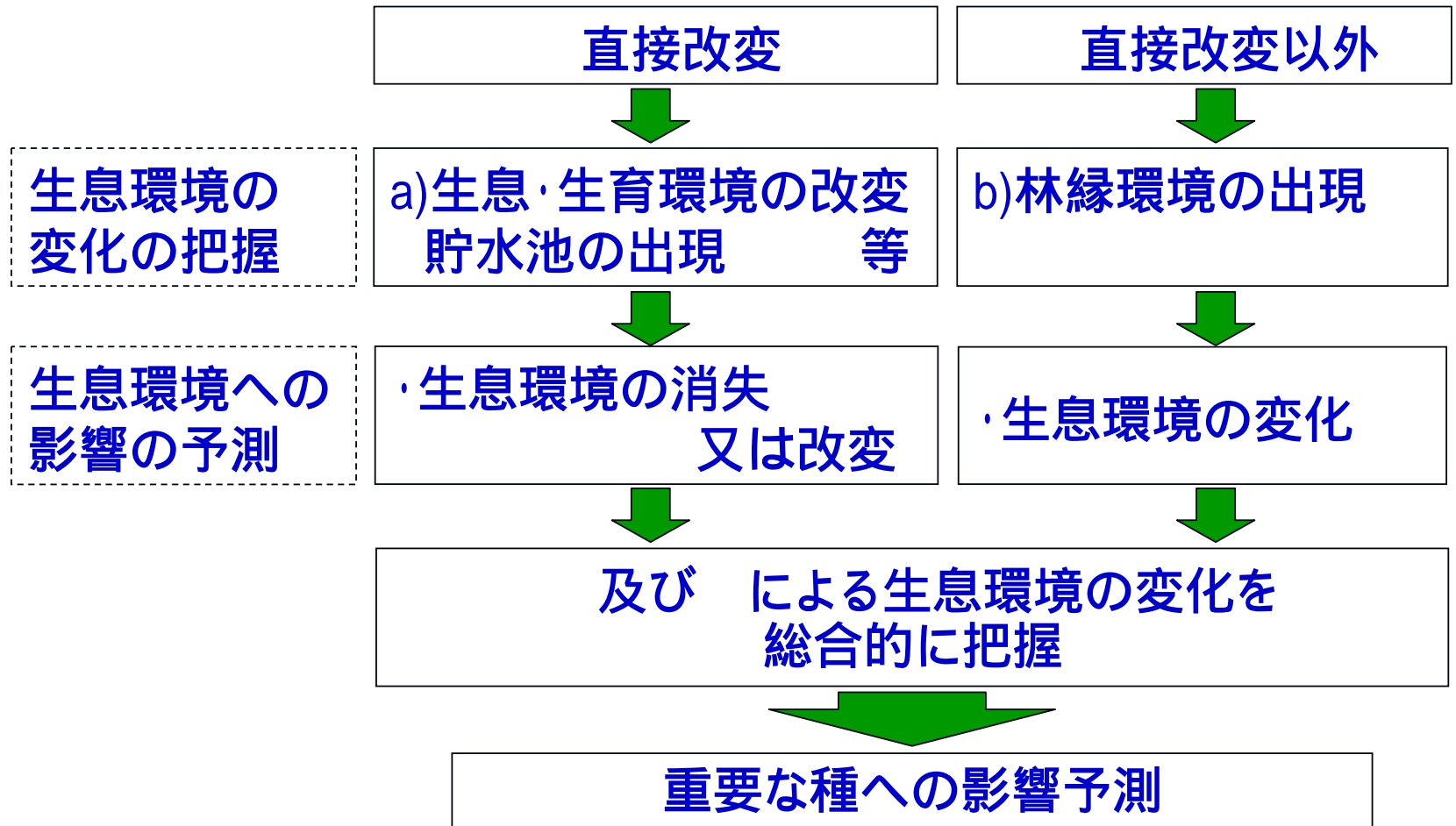
分類群	カテゴリーの変更・追記のみ	山鳥坂ダム準備書における記載種のうち、 新規に重要な種として追加される種			今回、重要な種から削除される種
		文献での確認種か、調査地域外のみでの確認種	現地調査において調査地域内での確認種	本来の分布域ではないため、対象種から除く種	
種子・シダ植物	マツバラシ、スギラン、ヒモラン、エビガラシダ、コウライイヌワラビ、ヒメウラボシ、ヤチマタイカリソウ、ヤマシャクヤク、トサミズキ、ヒメキリンソウ、ヤシャビシャク、イヌハギ、ホソバシロスミレ、ムラサキセンブリ、スズサイコ、マメダオシ、キクガラクサ、イヌタヌキモ、ヒナシャジン、バアソブ、ツクシタンポポ、ミズオオバコ、サガミトリゲモ、イトトリゲモ、ホンゴウソウ、アワコバイモ、エビネ、マヤラン、ナヨテンマ				
蘚苔類	オオミズゴケ、ジョウレンホウオウゴケ、セイナンヒラゴケ、キブリハネゴケ、カビゴケ、イチョウウキゴケ				
藻類	シャジクモ				
菌類	ツキヨタケ、タマチョレイタケ				
合計	38種	0種	0種	0種	0種

# レッドリスト見直し後の予測対象とした動物の重要な種

分類	科名	種名	選定理由				
			a	b	c	d	e
			天然 記念物	国内希少 野生 動植物種	環境省 レッド リスト	愛媛県 レッドデ ータブッ ク	その他 重要な 種
魚類	ウナギ科	ウナギ			情報不足		
	サケ科	アマゴ			準絶滅危惧		
昆虫類	ミズムシ科	ミゾナシミズムシ			準絶滅危惧		
	オサムシ科	スナハラゴミムシ			準絶滅危惧		
底生動物	ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ			情報不足		
陸産貝類	ベッコウマイマイ科	イヤヤマキビ			情報不足		
	オナジマイマイ科	シコクケマイマイ			準絶滅危惧		

) 昆虫類のオオオカメコオロギは、「環境省レッドデータブック」では「情報不足」であったが、「環境省レッドリスト」において「ランク外」となったことから、重要な種から削除した。

# 昆虫類(ミゾナシミズムシ、スナハラゴミムシ) 陸産貝類(イヤヤマキビ、シコクケマイマイ)予測手法【陸域】

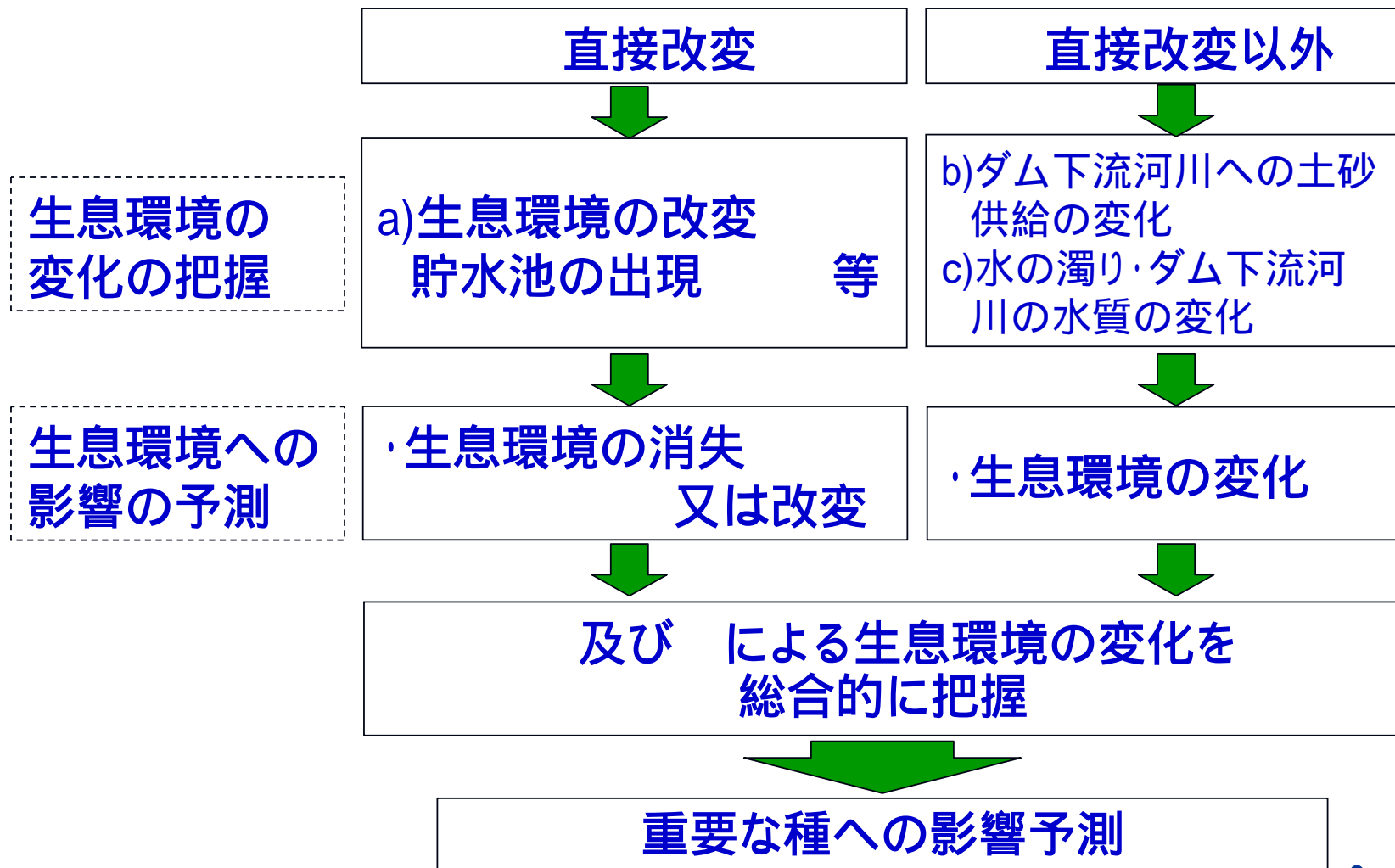




# 昆虫類(ミゾナシミズムシ、スナハラゴミムシ) 陸産貝類(イヤヤマキビ、シコクケマイマイ) の 主要な生息環境

分類	種名	現地調査の結果及び既存文献等から 推定された主要な生息環境
昆虫類	ミゾナシミズムシ	溜池
	スナハラゴミムシ	湿生植物が生育する河辺川の河原、 水田
陸産貝類	イヤヤマキビ	落葉広葉樹林、常緑広葉樹林、 スギ・ヒノキ植林
	シコクケマイマイ	落葉広葉樹林、常緑広葉樹林

# 魚類(ウナギ、アマゴ) 底生動物(ヒラマキミズマイマイ) 予測手法【河川域】



# 魚類(ウナギ、アマゴ) 底生動物(ヒラマキミズマイマイ) の主要な生息環境

分類	種名	現地調査の結果及び既存文献等から推定された主要な生息環境
魚類	ウナギ	河辺川(嵯峨谷堰堤より下流)、 肱川
	アマゴ	河辺川の支流、 河辺川(下敷水地区より上流)
底生動物	ヒラマキミズマイマイ	水田、河辺川(下敷水地区より上流)のツルヨシ群落等が分布する流れの緩い場所

## 事業による影響の予測・評価(案)

- ・各種において、主要な生息環境の変化の程度は小さいと考えられる。
- ・よって、他の動物の重要な種(83種)とともに、事業による影響はできる限り回避・低減されることが考えられる。